



# 読書活動への扉を開く！

No. 30

桑村小学校令和5年6月28日 文責 渡邊

## 「感性」を育む雨の「詩」

2年生の背面黒板に素敵な「詩」が掲示されています。

雨のうた

つるみ まさお

あめは ひとりじゃ うたえない  
きつと だれかと いっしょだよ  
やねと いっしょに やねのうた つちと いっしょに つちのうた  
かわと いっしょに かわのうた はなと いっしょに はなのうた

あめは だれとも なかよしで どんな うたでも しってるよ  
やねで どんどん やねのうた つちで ぴちぴち つちのうた  
かわで つんつん かわのうた はなで しとすと はなのうた

この詩のリズムはとても軽快で楽しいですね。「雨のうた」のタイトルにあるように擬音語（「どんどん」、「ぴちぴち」等）が効果的に用いられています。鬱陶しい雨の日もなんだか楽しく感じさせてくれる作品ですね。

次は、1年生の教室に掲示されている作品です。

「あ」のつく ひ  
くどう なおこ

あめの ひの  
あさでした  
あまがえるが  
あちから ぴよん  
あじさいに  
あいました  
「あ、あじさい こんにちは」  
「あら、あまがえる いらっしやい」  
あまがえると あじさいが  
あめのふる あさ  
あいさつして それからいっしょに  
あそびました



【学校に咲き誇る紫陽花の花々】

『「あ」のつく ひ』もとても楽しい詩ですね。1年生は学校に咲き誇る紫陽花と詩に出てくる紫陽花を重ねてイメージするのでしょうか。紫陽花とかえるはどんな遊びを雨の日を楽しむのでしょうか？想像しただけで何だかワクワクしてきますね。こうした自然豊かな環境の中、桑っ子の「感性」は育まれていくのでしょうか！